

### Ⅲ 情報学部

#### 1. 志望方法

日程	学科	志望方法
前期日程 後期日程	情報学科	

#### 2. 選抜方法

学科名	選抜方法等	大学入学 共通テスト	個別学力検査等			
			学力試験	面接	小論文	外国語における リスニング テスト
情報学科	前期	○	○	×	×	×
	後期	○	×	×	○	×

大学入学共通テスト、個別学力検査等及び調査書を総合して判定します。

なお、課せられた試験等は、全て受験しなければ失格となります。

##### (1) 個別学力検査等の教科・科目等

日程	教科・科目等		出題意図	摘要
前期日程	数学 外国語	数学 「数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B」若しくは 「数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数A、数B」から1  英語 コミュニケーション英語基礎、コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ	数学 数学的な知識、能力（計算力、数理的思考力）が備わっているか判断します。  英語 英語のコミュニケーション能力、表現力を含む多角的な能力の把握。	数学又は英語のいずれか1科目、若しくは2科目を出願時選択
後期日程	小論文		文系型：広く現代社会に関する諸問題への関心度と理解度をみるとともに、勉学に必要な、長文読解力、論理的思考力、文章表現力等を試します。  理系型：事象を数理モデル化し、必要なデータを活用して合理的な解を得て、その解や解の導出過程を筋道立てて論理的に説明する能力を試します。	文系型又は理系型のいずれかを当日、選択

##### (2) 個別学力検査等日程

前期日程

月日	時間	9:00	13:00	15:00
		9:30	11:30	12:40
2月25日(金)	諸注意	数 学	諸注意	英 語

(注) 1 受験者の入構開始時刻は8時です。

- 「数学」を受験する場合は、諸注意等があるので9時までには定められた試験室に入室してください。
- 「英語」のみ受験する場合は、諸注意等があるので、12時40分までに定められた試験室に入室してください。なお、試験室へは12時以降入室できます。
- 遅刻した者は、試験開始後30分までは受験を認めず、ただし、試験時間は延長しません。

## 後期日程

月日	時間	9:10		
		9:30	11:30	
3月12日(土)		諸注意	小論文	

- (注) 1 受験者の入構開始時刻は8時です。諸注意等があるので試験開始30分前までには、定められた試験室に入室してください。  
2 遅刻した者は、試験開始後30分までは受験を認めず。ただし、試験時間は延長しません。

### (3) 個別学力検査等試験場

前期日程の試験場は、荒牧・東京の2か所に開設します。

後期日程の試験場は、荒牧のみです。

試験場区分	試験場	所在地	試験場までの交通について
前期日程	荒牧	群馬大学情報学部	50ページ「4. 個別学力検査等試験場までの交通について」参照
	東京	TKP新宿カンファレンスセンター	
後期日程	荒牧	群馬大学情報学部	

- (注) 前期日程の志願者は、荒牧・東京の2か所の試験場から1か所を必ず指定し、インターネット出願ページで試験場を選択してください。なお、指定した試験場の変更は認めません。

### (4) 学力試験等の配点

日程	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点								
	試験の区分	国語	数学	外国語	地歴	公民	理科	小論文	合計
前期	大学入学共通テスト	200	200	200		300			900
	個別学力検査等		*400	*400					400
後期(小論文重視型)	大学入学共通テスト	200	200	200		300			900
	個別学力検査等							400	400
後期(大学入学共通テスト重視型)	大学入学共通テスト	200	200	200		300			900
	個別学力検査等							100	100

- (注) 1 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等については、18ページを参照してください。  
2 大学入学共通テストの英語の配点は、リーディング100点、リスニング100点となっていますが、本学では、リーディングとリスニングの配点を4:1とします。具体的には、リーディング160点満点、リスニング40点に換算し、合わせて200点満点とします。なお、英語を選択しリスニングを免除された場合はリーディングの点数(100点)の傾斜配点(×2.0)を行い、英語以外の外国語を選択した場合については、筆記の点数(200点)を配点とします。  
3 前期日程個別学力検査の合格者については、以下のとおりとします。  
(ア) 2科目受験者の場合は数学の点数(400点満点)と英語の点数(400点満点)にそれぞれ0.5を掛け、各200点満点に換算して高得点順に、最大で上位40位以内を合格者とします。ただし、一定の基準に満たなかったものをのぞきます。  
(イ) 1科目受験者及び2科目受験者のうち、上位アに含まれなかった者を対象とし受験科目の高得点順に合格者を決定します。  
なお、2科目目受験者については、数学または英語のいずれか得点の高い科目により合否判定を行います。  
また、数学及び英語の得点は素点としますが、得点調整を行うことがあります。  
4 後期日程については、出願時に小論文重視型か大学入学共通テスト重視型を選択してください。  
5 小論文の文系型及び理系型のそれぞれの得点は素点としますが、得点調整を行うことがあります。  
6 配点に\*印を付してある教科は選択教科を表します。



## (2)東京試験場 (TKP 新宿カンファレンスセンター)

- JR山手線、中央線、埼京線、湘南新宿ライン、総武線「新宿駅」南口 徒歩7分
- 京王線、小田急線、東京メトロ丸ノ内線「新宿駅」西口 徒歩5分
- 都営新宿線「新宿駅」7番出口 徒歩1分
- 都営大江戸線「新宿駅」7番出口 徒歩1分



TKP 新宿カンファレンスセンター (東京都新宿区西新宿 1-14-11 Daiwa 西新宿ビル)

※公共交通機関の運行状況は必ず最新の情報を確認し、集合時刻までに到着できるよう十分に余裕を持って試験場へお越しください。

### 後期日程

荒牧試験場  
(群馬大学 荒牧キャンパス)

前期日程(1)荒牧試験場を参照してください。

## 5. 受験心得

- 1 「群馬大学受験票」及び「大学入学共通テスト受験票」を必ず持参し、試験場に入構の際、提示してください。なお、合格後入学手続の際にも必要となりますので大切に保管してください。
- 2 課せられた試験等は、全て受験しなければ失格となります。
- 3 試験室では、「群馬大学受験票」記載の受験番号と同じ番号の席に着き、本学受験票と大学入学共通テスト受験票を机上の右上隅においてください。
- 4 遅刻した場合は、入構確認を行っている職員に申し出てください。  
なお、試験開始後30分までの遅刻者は、受験を認めます。ただし、試験時間は延長しません。
- 5 試験時間中は、監督者の指示に従ってください。
- 6 不正行為を行った者は、失格とします。
- 7 試験時間中に日常生活騒音等（監督者の巡回による足音・監督業務上必要な打ち合わせなど、航空機・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、周囲の建物のチャイム音など）が発生した場合でも救済措置は行いません。
- 8 試験開始時には必ず解答用紙（下書用紙とも）に本学受験番号及び氏名を記入してください。
- 9 途中退場は認めません。
- 10 試験終了時には、直ちに答案から手を離し、監督者の指示を待ってください。
- 11 時計は計時機能だけのものとします。  
携帯電話や音の出る機器及び録音機（ICレコーダー）等は身に付けてはいけません。必ずアラームを解除し電源を切り、かばんなどにしまってください。  
このことを守れない場合は、不正行為と見なされ、受験資格を失うことがあります。
- 12 数学受験の際は定規（直線又は三角）、コンパスの使用を認めます。
- 13 解答はHBの鉛筆（シャープペンシル可）を使用してください。
- 14 前期日程の2科目受験者は、昼食を持参してください。
- 15 情報学部東京試験場であるTKP 新宿カンファレンスセンターに対し、本学の試験に関する問合せ等をしないでください。
- 16 マスクを必ず持参し、着用してください。
- 17 このほか受験上の注意事項を試験場に掲示しますから、よく見てください。
- 18 諸注意があるので定められた時刻までに試験室に入室してください。

## 6. プログラムについて

情報学部情報学科では、人文情報プログラム、社会共創プログラム、データサイエンスプログラム、計算機科学プログラムからなるプログラム制を採用しています。各学生は、それぞれの希望に応じて、2年次から配属するプログラムを選択することができます。

なお、各プログラムの特徴は以下のとおりです。

### (人文情報プログラム)

人文科学的知見を活用して高度情報化社会における課題を探索する能力を修得し、課題解決のための実践的理念を提供できる能力を養成します。

### (社会共創プログラム)

高度情報化によるシステム(制度)の変化について、社会科学的知見を活用して課題を発見し、社会的課題の解決および社会目標の達成のためのシステム(制度)の構築や方策を提案できる能力を養成します。

### (データサイエンスプログラム)

社会全体から集められるビッグデータを、情報システムを利用して収集する方法を設計し、集まったデータから、目的とする価値に適合した解決策を導く能力を養成します。

### (計算機科学プログラム)

計算機や情報ネットワークをその数理的原理から理解することで、進歩の速い情報技術をフォローアップできる能力を持ち、人工知能や各種情報システムを研究開発できる能力を養成します。